

基本政策 **健康**
すべての人が健康で自分らしく輝けるまち

▶ 単身高齢者への対応として、遺言・相続・葬儀などの相談や情報提供を行う「終活支援事業」を行います。
 ▶ 板橋区医師会の在宅医療推進強化事業への費用の助成を行い、在宅医療体制の構築に向けて支援します。
 ▶ 感染症防止のため、妊娠28週～36週の方を対象に、「RSウイルス母子免疫ワクチン」の定期接種事業を開始します。

基本政策 **スポーツ・文化**
スポーツ・文化に親しみ魅力へつなげるまち

▶ 旧保健所跡地に、地域の文化・交流ニーズへの対応、地域経済と社会の活性化、機能の充実化と災害対応力の強化の視点から、ホール機能などを設置する複合施設整備計画を進めます。
 ▶ 文化会館地下1階をリニューアルし、様々な創作活動・体験ができる「文化の居場所」をつくります。日常的に活動できるオープンな空間をつくることで、新たな文化の創造・発信拠点としての機能強化を図ります。

基本政策 **産業**
板橋らしい産業の魅力を創造・発信するにぎわいあふれるまち

▶ 新たな製品・サービスの開発をめざす事業者と研究機関・区内事業者とのマッチング、実証実験環境の提供など、実装までを見据えた伴走支援を行う「イノベーション創出・社会実装推進プロジェクト」を開始します。
 ▶ 30回目の開催を迎えるいたばし産業見本市を企業・大学・研究機関と区内企業との交流・連携促進を図り、区内外のブランディングにつながる企画と情報発信を行う記念事業として行います。
 ▶ 農地を所有する農業者を対象に、農地の確保・保全・有効活用に向け、非農地から農地への転換や農地が持つ多面的機能の発揮に必要な施設整備など、支援の充実を図ります。



基本政策 **環境**
みどり豊かで人と地球にやさしいまち

▶ 「板橋区かわまちづくり基本構想」の全体コンセプトである「自然体験型アーバンリバーパーク」の実現に向けて、にぎわい創出と防災を軸に、自然豊かな空間を整え、荒川河川敷の魅力・機能向上をめざします。
 ▶ 「ひと・まち・みどりをつなぐ」をコンセプトに、来年4月リニューアルオープン予定の板橋公園では、園内を巡る次世代モビリティや農園整備などを行い、魅力あふれる公園にします。
 ▶ 区内の集合住宅・公園などで、専門家派遣によるボランティア団体の育成や植栽管理の指導などを行うとともに、多様な主体が連携するみどりの協働体制の構築に向けて、ワークショップなどを行い、協働体制を維持・活性化する仕組みを構築します。

▶ 「いたばし環境アクションポイント事業」をアプリ利用中心の事業に刷新します。また、環境配慮行動の実践や太陽光パネルを設置した方に「いたばしPayポイント」を付与するなど、更なる事業展開を図ります。
 ▶ 食品ロス削減・生ごみ減量に資する施策を「生ごみ減量プログラム」として定型化し、ゼロカーボンシティに向けた行動変容を促進していきます。



かわまちづくりの推進イメージ

基本政策 **防災・危機管理**
地域で支え合い安心・安全に暮らせるまち

▶ 危険なげき・よう壁の解消を促進するため、区内約900か所の実態調査を行い、その結果を踏まえた「がけ・擁壁防災対策方針」を策定します。
 ▶ 老朽建築物対策のため、所有者不明・不存在の空き家に対し、区が財産管理制度を活用して除却・改善を図ります。また、所有者などに、専門家による無料相談会を定期的に開催します。さらに、接道要件を満たさず再建築が困難な空き家を解消するため、隣地との統合による売買に要する経費の一部を助成するなど、建築物の適切な維持管理につなげます。
 ▶ 初期消火体制の強化を図るため、街頭消火器の設置を推進するとともに、緊急医療救護所の運営に必要な非常食・飲料水・医薬品の備蓄の増強を図ります。また、区立全小・中学校や区営住宅などに24時間使用できる屋外型AEDの増設、設置箇所の夜間の視認性を高める蓄光サインボードなどの設置により、防災対策を推進します。



基本政策 **都市づくり**
身近な暮らしの中でこころの豊かさを感じる魅力にあふれるまち

▶ 大山駅周辺地区において、補助第26号線と商店街が交差する場所を、まちのにぎわいや商店街の活性化の場とするため、再開発事業で整備した広場などの活用を図ります。

▶ 板橋駅周辺地区の駅前エリア全体を「えんのもり」と名付け、区民の創造的な活動や人と人とのつながりが育まれる空間をめざします。
 ▶ 上板橋駅南口周辺地区では、緑豊かで心地良い屋外空間を公民一体で形成し「新たな公園都市」の実現をめざします。また、再開発事業の完了期に向けて、商店街の活性化、防災面の改善などの取組を進めていきます。
 ▶ 高島平地域において、将来を見据え、選ばれるまちへと成長していくための連鎖的都市再生を進めます。持続可能な都市へと転換していくため、都市の骨格を再構成し、「高島平地域グランドデザイン」の改定に着手します。
 ▶ 小竹向原駅周辺では、駅周辺の総合的なまちづくりの推進に向けて、まちづくり組織の活動を支援するとともに、向原小や地域の課題解決に向けて、公共施設の機能連携や再編の検討を進めます。

計画を推進する区政経営

▶ グリーンホールを「よりそい・まじわり・つながり」を活用コンセプトに、高齢・障がい・福祉の総合的・包括的支援拠点として整備するための検討を推進します。
 ▶ 区役所本庁舎北館を来庁者の利便性向上・業務効率化を図り、時代に即した庁舎とするため、検討を進めます。
 ▶ 旧板橋四中跡地を若者・地域交流拠点や多様な学びの場、多目的スポーツ広場として整備を推進するとともに、区全体・地域の防災力を高めるなど、魅力的な施設整備に向けて整備構想・計画を策定します。
 ▶ 栄町集会所を多世代が自然に集い、交流し、地域活動へ参画しやすい「つながりの居場所」として整備します。
 ▶ 創造都市としての歩みを進めるため、「絵本のまち板橋」を新たな段階へ移行します。「ポーロニャ国際絵本原画展」の会期に合わせた多彩なイベントを区内各所で展開し、各施策を横断的につなぎ、「創造都市いたばし」を広く区内外に発信します。



おわりに

令和8年度は 新たな基本構想・基本計画のはじまりの年となる重要な年度となります。「みんなに かけ橋」をスローガンに、創造都市(クリエイティブシティ)として、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて、全力で取り組みます。

令和8年度当初予算の規模

区分	令和8年度	令和7年度	伸び率	
一般会計	3015億円	2753億円	9.5%	
特別会計	国民健康保険事業	534億8000万円	534億9000万円	△0.0%
	介護保険事業	484億1600万円	481億6700万円	0.5%
	後期高齢者医療事業	160億5000万円	146億7300万円	9.4%
	東武東上線連続立体化事業	5億9300万円	12億5000万円	△52.6%
合計	4200億3900万円	3928億8000万円	6.9%	

*伸び率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。